

社会資本総合整備計画 事後評価シート

城下町・港町の風情と人情溢れる景観まちづくり

京都府 宮津市

平成27年

社会資本総合整備計画（街なみ環境整備事業） 事後評価書

平成28年4月22日

計画の名称	1 城下町・港町の風情と人情溢れる景観まちづくり		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	宮津市
計画の目標			

自然、歴史及び文化等の地域資源を活かし、まちなか観光の歩行者ネットワークによる回遊性や快適性を高めるため、快適で魅力ある城下町・港まちの風情と人情溢れる景観まちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 宮津市街地における年間観光客数を267,400人/年（H21年）から、300,000人/年（H27年）に増加 文珠地区における年間観光客数を833,200人/年（H24年）から、933,000人/年（H27年）に増加 府中地区における年間観光客数を774,400人/年（H24年）から、867,000人/年（H27年）に増加
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
① 宮津市街地における観光入込客数の調査	267,400人/年	289,000人/年	300,000人/年	
② 文珠地区における観光入込客数の調査	(H24) 833,200人/年	—	933,000人/年	
③ 府中地区における観光入込客数の調査	(H24) 774,400人/年	—	867,000人/年	
全体事業費	合計 (A+B+C)	298.0百万円	A 279.5百万円 B 0百万円 C 18.5百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 6.2%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
事業評価にあたっては、成果目標が定量的指標であり、その内容及び数値から第三者機関による評価とするまでもなく、事業を所管する建設室による評価とし、定量的指標以外の事業評価については、宮津市景観審議会において評価を行った。	平成28年度
	公表の方法
	市のホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1	住宅	一般	宮津市	直接/間接	民間 宮津市	市道等		街なみ環境整備事業（宮津市街地地区）	測量・調査・設計、舗装 美装化等、協議会活動助 成、街なみ修景助成、整 備方針策定	宮津市						56	
A2	住宅	一般	宮津市	直接/間接	民間 宮津市	市道等		街なみ環境整備事業（文珠地区）	測量・調査・設計、舗装 美装化等、空家住宅等除 却・整備、協議会活動助 成、街なみ修景助成	宮津市						82	
A3	住宅	一般	宮津市	直接/間接	民間 宮津市	市道		街なみ環境整備事業（府中地区）	空家住宅等除却・整備、 舗装美装化等、街なみ修 景助成、協議会活動助成	宮津市						45	
合計																183	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
C-1	住宅	一般	宮津市	間接	民間		空き店舗・既存建造物活用事業	空き店舗や伝統的な町屋の改修費用、家賃、広告宣伝費等に助成	宮津市								
C-2	住宅	一般	宮津市	間接	民間		美観電柱事業	電柱の移設とあわせて、美観柱に変更する。	宮津市						1		
C-3	住宅	一般	宮津市	間接	民間		環境整備事業	案内板の設置等に対する助成	宮津市								
C-4	住宅	一般	宮津市	間接	民間		路地等助成事業	路地等の修景を行う者に対する助成	宮津市						8		
C-5	住宅	一般	宮津市	間接	民間		屋外広告物等助成事業	屋外広告物等設置を行う者に対する助成	宮津市								
											合計	9					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	街なみ環境整備事業(A-1)の整備とあわせて、空き店舗や伝統的な町屋を利活用することで、創業希望者の創出を図り、地域振興や観光振興が期待できる。	
C-2	街なみ環境整備事業(A-1、A-3)の整備とあわせて、移設等電柱を美観柱に変更することで、歴史的な街なみ修景が図れる。	
C-3	街なみ環境整備事業(A-1～A-3)の整備とあわせて、案内板等を設置することで、地域住民や観光客の利便性の向上が図れる。	
C-4	街なみ環境整備事業(A-1)の整備とあわせて、空き店舗や伝統的な町屋を利活用することで、創業希望者の創出を図り、地域振興や観光振興が期待できる。の整備とあわせて、路地等の修景を行うことで、歴史的な街なみ	
C-5	街なみ環境整備事業(A-2、A-3)の整備とあわせて、屋外広告物等の統一化を図ることで、歴史的な街なみ修景が図れる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 道路の舗装美装化の実施により、道路の修景が図られただけでなく、観光ルートとしての明示もでき、観光客の誘導もスムーズになった。 民間建物の修景を実施することにより、地域住民の景観意識の向上が図れ、さらなる建物修景につながっている。 こうした環境整備を行う一方で、「海の京都」と銘打った観光プロモーションを強力に展開することにより、各地において観光客数が増加した。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（宮津市街地における観光入込客数）	最終目標値	300,000人／年	目標値と実績値に差が出た要因	街なみ環境整備事業以外の事業も行う中で、すべての事業が相乗的に効果を発揮したことから、目標値を上回った。	
		最終実績値	333,200人／年			
	指標②（文珠地区における観光入込客数）	最終目標値	933,000人／年	目標値と実績値に差が出た要因	街なみ環境整備事業以外の事業も行う中で、すべての事業が相乗的に効果を発揮したことから、目標値を上回った。	
		最終実績値	1,047,300人／年			
	指標③（府中地区における観光入込客数）	最終目標値	867,000人／年	目標値と実績値に差が出た要因	街なみ環境整備事業以外の事業も行う中で、すべての事業が相乗的に効果を発揮したことから、目標値を上回った。	
		最終実績値	896,400人／年			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 観光地として相応しい受け皿づくりについて、市民、行政それぞれの役割を担いながら一致団結して取り組んだことで、各事業が相乗的に効果を発揮した。 具体的には、市民は積極的な建物修景に取り組む一方、宮津市においては道路の美装化を行ったほか、この街なみ環境整備事業以外にも京都府により府道宮津養父線及び天の橋立線の改良整備、天橋立公園のリニューアルや市による天橋立ターミナルセンターの改修を行った。 こうした事業により、まち全体が風情のない古びたものから一新し、雰囲気あるいにしへの趣きを残しながら住む人、訪れる人ともにとって快適で魅力ある街なみとなった。 				

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 景観計画及び地域の景観に係る協定に基づき建物修景を引き続き行い、良好な街なみ景観を維持・創出する。 併せて、道路の舗装美装化を実施し、歩行者の利便性、安全性の向上を図る。 こうした取組みとあわせ、引き続き観光分野におけるソフト事業も展開しながら、さらなる誘客を目指す。
--